



ボートコースの水位情報が把握可能に!

令和元年10月の台風第19号では、笹目川からボートコースへ水が流入し、周辺地域へと溢水しました。今後も大雨のときには警戒が必要です。市では、ボートコース周辺地域への溢水の可能性がある場合、市ホームページでボートコースの水位情報を発信しています。定期的に情報を確認し、早めの対応をお願いします。



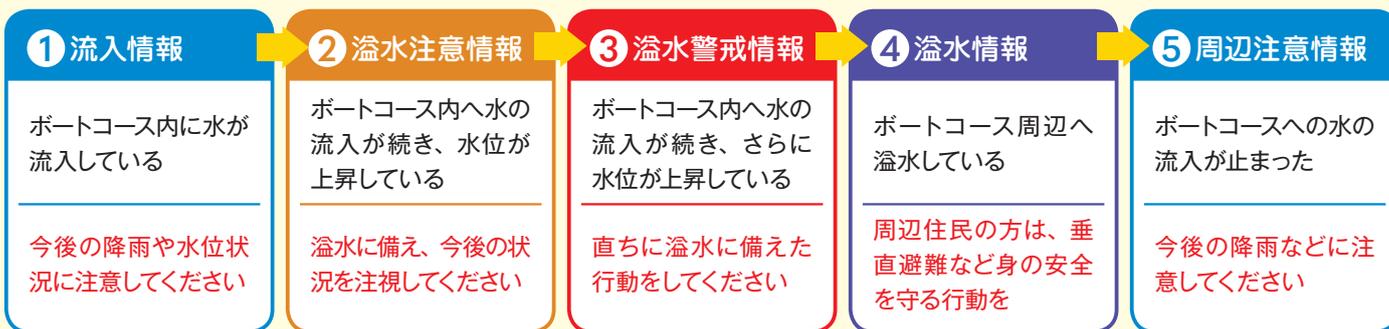
水位情報は
こちら

問い合わせ 危機管理防災課(内線311)

ボートコースの水位

ボートコースは大雨が予測されるとき、事前に水位を下げ、災害に備えています。しかし、大雨時には、笹目川の水位が上がると水が流入するため、ボートコースの水位も上昇します。状況によっては周辺へ溢水する恐れがあります。

状況を5段階に分け、情報を発信します



大雨時には、実際の降雨の様子に注意し、市ホームページなどからの各種避難情報、気象情報を確認してください。また、家財道具、貴重品、生活用品を2階や高いところに移動するなど、早めの行動を心掛けましょう。

市長コラム

こんにちは、市長です

過去の教訓を生かして、
次の災害に備える



戸田市長 菅原 文仁

戸田市の最大の災害リスクの一つは「水害」です。近年、「100年に一度」と言われるような台風や線状降水帯によって大規模な風水害が発生するようになってきています。記憶に新しいと思いますが、戸田市は昨年過去最大の降雨量を記録した台風第19号によって内水による浸水被害が発生し、避難所には4,000名を超える方々が避難することとなりました。私たちは、この水害によって得た教訓を生かし、一刻も早く浸水被害への備えを充実・強化していかなければなりません。今年度、戸田市は水害対策を最重要課題として、国や埼玉県と連携して様々な取り組みを推進しておりますが、上記の「水位情報の発信」もそのうちの一つであり、笹目川を管理する埼玉県などと協議を重ねた結果、8月から新たに市独自で水位の情報を市民の皆さんに発信できるようになったものです。戸田市ではこれからも市民の皆さんとともに「安心・安全の治水対策」を進め、水害に負けない地域づくりを進めてまいります。

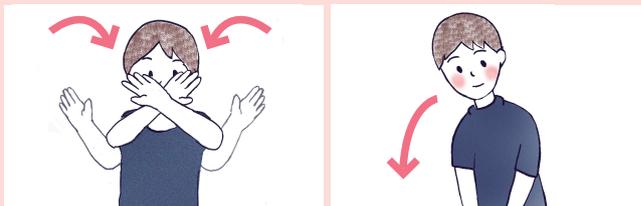
手話でコミュニケーション

第2回

耳の聞こえない方とのコミュニケーション方法の一つである手話。今回は「あいさつ」の手話を紹介します。あいさつは日常的に使うものなので、みんなで覚えて使ってみましょう。

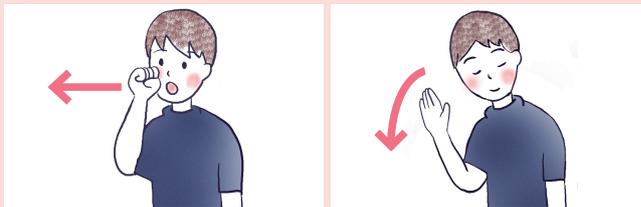
問い合わせ 障害福祉課(内線297)

① こんにちは(目の前が暗くなることを表します)



手のひらを相手側に向け、立てた両手を左右から引き寄せ、顔の前で交差させてからおじぎします。

② よろしくお願ひします



右手のこぶしを鼻にあて、指を揃えて開きながら前に出し、おじぎします。